

12月 ほけんだより

令和 7年 12月 1日

菅保育園

こども未来局
保育・子育て推進部



年の瀬は何かとあわただしく、生活リズムも崩れがちです。またこの時期は感染症が流行しやすい時期でもあります。体調やケガには十分に気をつけましょう。

やけど に注意しましょう！

お茶、みそ汁、カップ麺
などの高温の飲み物や
汁物

電気ポット、
炊飯器

*電気製品（電気ポットなど）のコードを引っ張って倒し、熱湯を浴びることもあります。コードも含めて子どもの手の届かない場所に置きましょう。

*暖房器具（湯たんぼ、電気カーペット）などが長時間、肌の同じ部位に触れると低温やけどをすることがあります。

*調理器具は調理中だけでなく調理後も、アイロンは使用中と使用後も高温のことがあります。冷めきるまでは子どもが触れないように注意しましょう。また外食中、高温の食べ物の皿や鉄板などに指が触れることでやけどをすることがあります。

調理器具
(フライパン、鍋)、
アイロン

暖房器具(湯たんぼ、
電気カーペット)、
加湿器

年末年始・日曜・祝日の急病について

年末年始は多くの医療機関が休診となります。かかりつけの医療機関の休診日はご存知でしょうか。急病になったとき慌てないよう、お近くの医療機関を事前に調べておきましょう。

休日急患診療所は市内7区にあり、休日の他に年末年始も診療しています。夜間は市内3か所にある小児急病センター（南部、中部、北部）で小児の初期診療を行っています。お近くの所在地や診療時間などを確認しておくとう安心です。

診療情報については、「医療情報ネット（ナビイ）」（厚生労働省）で検索したり、「川崎市救急医療情報センター（TEL:044-739-1919）」または「かながわ救急相談センター（#7119）」で相談したりすることができます。



大出先生の健康コラム 《暴力的な行動、噛みつく、叩く、殴る》

子どもは1歳ごろから保護者の注意を引くためや不機嫌や不満を表すために、噛んだりすることがあります。2～5歳位までは怒りを制御できず、噛みつく・叩くなどの暴力を振るうこともあります。子ども同士のけんかの際の暴力で思いがけず成果が上がりそのパターンを覚えると、以後も暴力行為を繰り返す場合があります。子どもの暴力的な行動への対応として、家庭内の「叩かない、噛みつかない」とのルールを作り、怒りの気持ちを言葉で表すように教えましょう。実際に暴力的な行動をとった場合には罰をちらつかせて脅すのではなく、穏やかに声がけをする。それでも暴力行為が続くなら安全を確認した上で、保護者がいったんその場を離れることも有効です。保護者自身が感情的にならないように、くれぐれも注意しましょう。

園医 大出 集

